

は種前(床土混和)・は種時処理専用剤

殺菌剤

農林水産省登録
第 22543 号

殺菌剤分類 P2



ファースト オリゼ[®] 箱粒剤

プロベンゾール粒剤



オリゼメートで
は種と同時にいもち病防除!



ファーストオリゼ箱粒剤の特長

- **経済性** — 「は種前(床土混和)」または「は種時」に処理するため、こぼれ落ちがなく、薬剤が無駄になりません。
- **効果** — 均一に処理されるため、撒きむらがなく、薬効が安定します。
- **省力性** — 忙しい田植時の労力を軽減できます。



葉いもち



ずりこみいもち



穂いもち



白葉枯病

ファーストオリゼ® 箱粒剤

●成分：プロベンゾール………20.0% 人畜毒性：普通物※

※毒劇物に該当しないものを指している通称

は種と同時にいもち病防除。

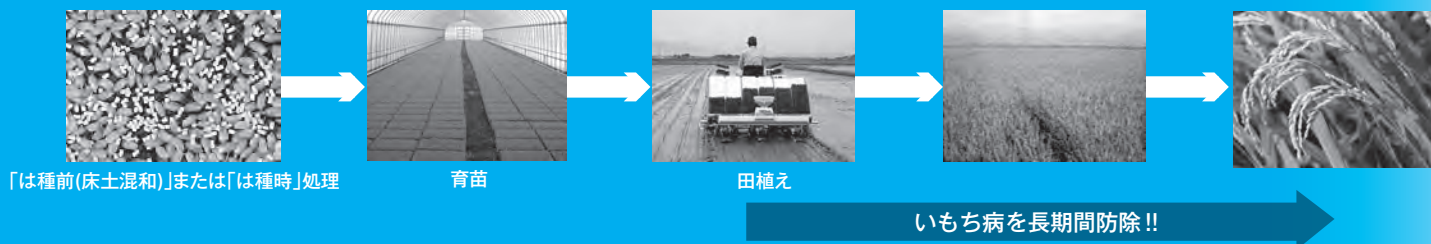
ファーストオリゼ箱粒剤の特長

- 1 「は種前(床土混和)」または「は種時」処理でいもち病防除が可能
「は種前(床土混和)」または「は種時」処理により水稻の主要病害であるいもち病を防除できます。
- 2 高い省力性
「は種前(床土混和)」または「は種時」処理でいもち病に対して長期間にわたって高い効果を示しますので、省力的、経済的です。
- 3 ユニークな作用性
「ファーストオリゼ」はイネの病害抵抗性を誘導し、安定した防除効果が長期間持続します。各種薬剤耐性菌にも有効です。

●適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベンゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50g	は種前	1回	育苗箱の床土に 均一に混和する。	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病		は種時 (覆土前)		育苗箱の床土に 均一に散布する。	

は種と同時にいもち病防除



●使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
- 本剤を育苗床土に混和する場合には薬害を生じる場合があるので、下記の注意事項を遵守して下さい。
 - ①山土、畑土などを使用する場合は、十分に乾燥させてから使用して下さい。
 - ②粒剤を混和した床土は高温多湿での保管を避け、すみやかに使用して下さい。
 - ③粒剤が破壊されるような過度な混和は避けて下さい。
- 本剤処理後の低温で生育抑制を生じる恐れがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめて下さい。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがありますが、その後回復するので通常の管理を維持して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意して下さい。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用を避けて下さい。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用を避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 誤食などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。

魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
保 管…直射日光をさげ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。



- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ／ご注文は